

研究課題名	MRI と AI によるうつ病・双極症の客観的診断・層別化法の実用化に向けた研究
研究期間	実施許可日 ～2031 年 3 月 31 日
研究の対象	「精神疾患データベースの構築・利活用により精神疾患の病態を解明しその障害を支援するための研究」に登録をいただいた方。
研究の目的・方法	研究目的：うつ病・双極症・難治性うつ病の客観的診断法を開発し新たな治療法創出につなげることを目的とします。 研究の方法：核磁気共鳴画像法（MRI）と人工知能（AI）技術を用いて、うつ病・双極症患者の治療反応性、あるいは難治性に関連する脳構造および機能の特徴を明らかにします。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：MRI 画像、基本情報（年齢、性別、診断名等）、臨床評価データ 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 教授 岡田剛
利用または提供を開始する予定日	2026 年 3 月 10 日（実施許可日以降）
個人情報の保護	すでに個人情報を削除したデータを使用させていただきます。
外部への試料・情報の提供	精神疾患データベースから提供を受けたデータをさらに外部に提供することはありません。
研究組織	本学の研究責任者 広島大学大学院医系科学研究科精神神経医科学 教授 岡田 剛 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 研究代表者 広島大学大学院医系科学研究科精神科 教授 岡田 剛 共同研究機関 株式会社 XNef 最高医療責任者・酒井雄希 国際電気通信基礎技術研究所 脳情報解析研究所計算脳イメージング研究室・室長・山下宙人
その他	利益相反：有 株式会社 XNef から出向している診療放射線技師が MRI 撮像を担当するが、臨床試験にかかる MRI 撮影業務及びそれに付随する業務のみで、被験者のリクルート、データ管理に関与する業務には従事しない。 この研究で用いた情報等は、将来この研究とは別の研究に利用させていただく可能性があります。これを二次利用といいます。二次利用する際は別途倫理審査委員会で承認後、研究機関の長の許可を得てから使用します。将来の研究に使用した場合は広島大学のホームページ（人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開 https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx ）および共同研究機関の

	<p>情報公開ページへその情報を掲載し、拒否の機会を保障します。</p>
<p>研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先</p>	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 精神科 担当者：特任助教 上敷領 俊晴 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5814</p>